
生物と機械のあいだ

あま音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生物と機械のあいだ

【Nコード】

N6490F

【作者名】

あま音

【あらすじ】

性格破綻の少女型人工人格と人間の青年の話

プロローグ

春の朝は気持ちがいい。

別に草木が萌えるとか、新しい出会いが待ってるとかそういった感傷的な意味ではなく

日中を過ごしやすいというただそれだけ。

本当にただそれだけなのに、気分は一点の陰りもない大空のように開放感に満ち溢れていた。

なぜなら、うだるような夏の暑さに比例して普通の冷房では考えられないような跳ね上がり方をする電気代に頭を抱えたり凍えるような冬の寒さの中で暖房をつけない苦行を成し遂げたりする必要がないからだ。

冬と夏は一年の二分の一以上に相当する。実際の秋や春という極楽の季節は暦のように半年もないのだ。

だから、この数少ないすがすがしい朝はゆっくりしてきたいのに

「さっさと起きなさいよ！このねぼすけっ！」

「空気の読めない元凶はさっさと消えてなくなれ。デリートするぞ。無能」

破綻性格のこの人工人格はそれすらも許してくれないらしい。

プロローグ（後書き）

処女作&初めて小説っぽい文章を書きました

一応ラノベ的なイメージを持ってもらえれば幸いです

描写等が苦手なので見苦しい文章になったり

くさい文章になったりスムーズに展開を進めれなかったりするかもしれない。

一応小説の書き方系のサイトは見てますが文章等のご指導お願いします。

とりあえず今回はプロローグを投稿して逃げないように自分の枷にしました。

不定期ですががんばって更新したいと思います。

よろしく願います

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6490f/>

生物と機械のあいだ

2010年10月23日01時46分発行